

2020年3月期 決算説明資料



関東電化工業株式会社

(東証1部 4047)

2020年5月22日

説明内容

1. 2020年3月期 決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

事業セグメント

名 称		内 容
基礎化学品 事業	無機製品	か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノール等
精密化学品 事業	フッ素系製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンゲストン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、五フッ化ヨウ素、六フッ化リン酸リチウム、ホウフッ化リチウム等
鉄系事業	鉄系製品	キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等
商事事業	関電興産(株)	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	(株)上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

関東電化グループ（連結子会社）

(単位：百万円)

	資本金	出資 比率%	2020/3期 売上高	対前期比	主要な事業内容
関電興産（株）	10	100.0	7,146	313	化学工業薬品の販売および容器整備、 保険代理店
（株）上備製作所	120	49.4	5,695	961	化学工業用設備の製作・加工・修理
森下弁柄工業（株）	27	99.3	747	△84	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA（株）	3億ウオン	90.0	11,041	△1,360	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份有限 公司	7百万NTドル	100.0	4,871	△601	フッ素系製品の販売
関東電化ファインプロダク ツ韓国（株）	215億ウオン	100.0	18	18	フッ素系製品の製造販売
			合計	29,522	△754

連結決算のポイント

(単位：億円)

	2019/3	2020/3	差額
売上高	552	536	△15
営業利益	94	77	△17
純利益※	65	50	△15

※親会社株主に帰属する当期純利益

【売上高】（△15億円）

- ・基礎化学品事業は、販売数量の減少により減収（△1.6億円）
- ・精密化学品事業は、販売数量の減収と販売価格の低下により減収（△14.4億円）
- ・鉄系事業（△0.9億円）、商事事業（+0.7億円）、設備事業（+0.9億円）

【営業利益】（△17億円）

- 基礎化学品事業（△1.4億円）、精密化学品事業（△15.0億円）
- 鉄系事業（△0.6億円）、商事事業（+0.1億円）、設備事業（+2.0億円）

基礎化学品事業部門

(単位：億円)

	2019/3	2020/3	差額
売上高	68	66	△1
営業利益	2.7	1.2	△1.4

【売上高】

- ・か性ソーダ・・・前期並み。
- ・塩酸・・・販売数量の減少により減収。
- ・トリクロールエチレン・・・前期並み。
- ・パークロールエチレン・・・販売数量の減少により減収。

【営業利益】

- ・販売数量の減少により減益。

精密化学品事業部門

(単位：億円)

	2019/3	2020/3	差額
売上高	414	399	△14
営業利益	83	68	△15

【売上高】

- ・三フッ化窒素・・・販売数量の減少により減収。
- ・六フッ化タングステン・・・販売数量の減少と販売価格の低下により減収。
- ・ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン・・・販売数量の増加により増収。
- ・六フッ化リン酸リチウム・・・販売数量の減少により減収。

【営業利益】

- ・原材料価格は低下したものの、売上高の減少と製造固定費の増加等により減益。

鉄系・商事・設備事業部門

(単位：億円)

	2019/3	2020/3	差額
売上高	69	70	0
営業利益	8	7	△0

【鉄系事業】

鉄酸化物の販売減少により減収。

【商事事業】

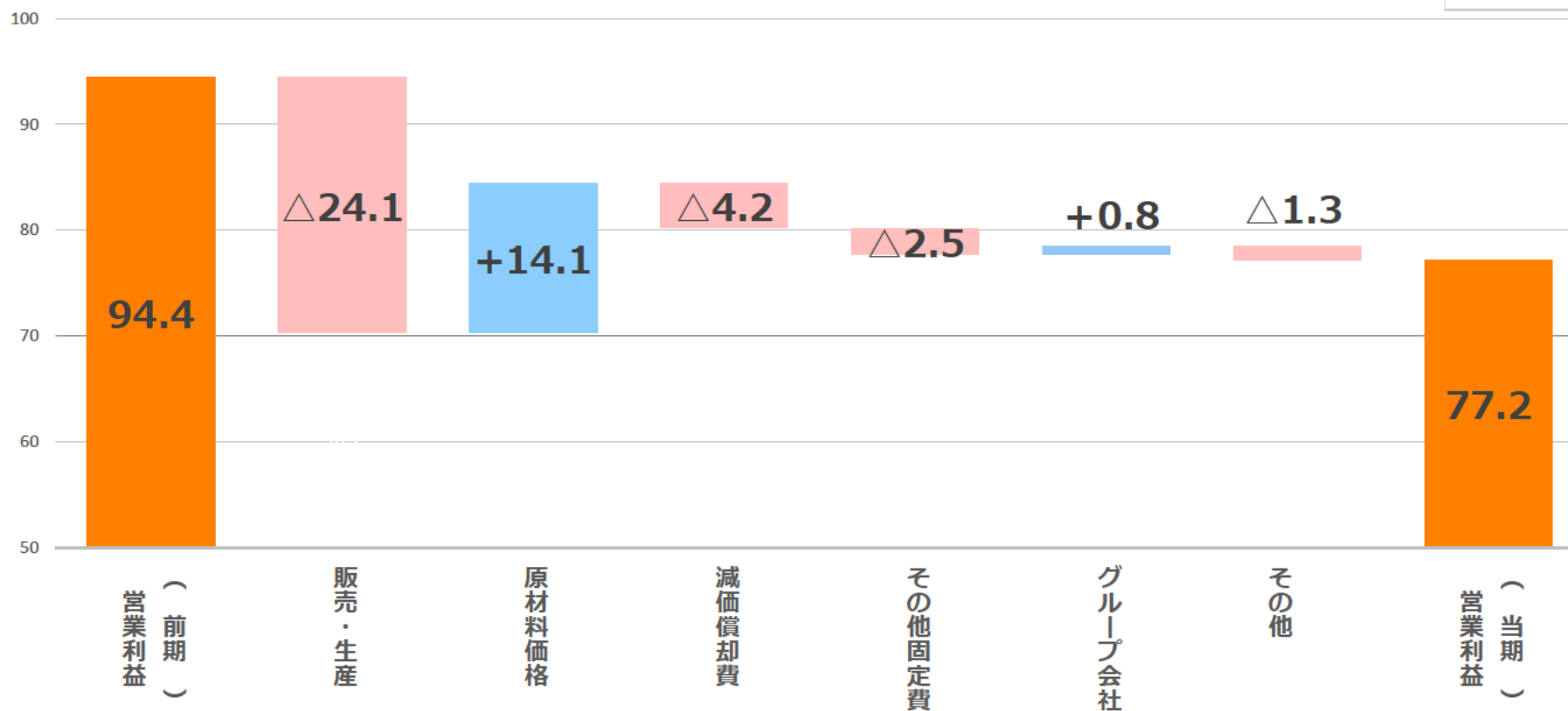
連結子会社である関電興産の化学工業薬品の販売増加により増収。

【設備事業】

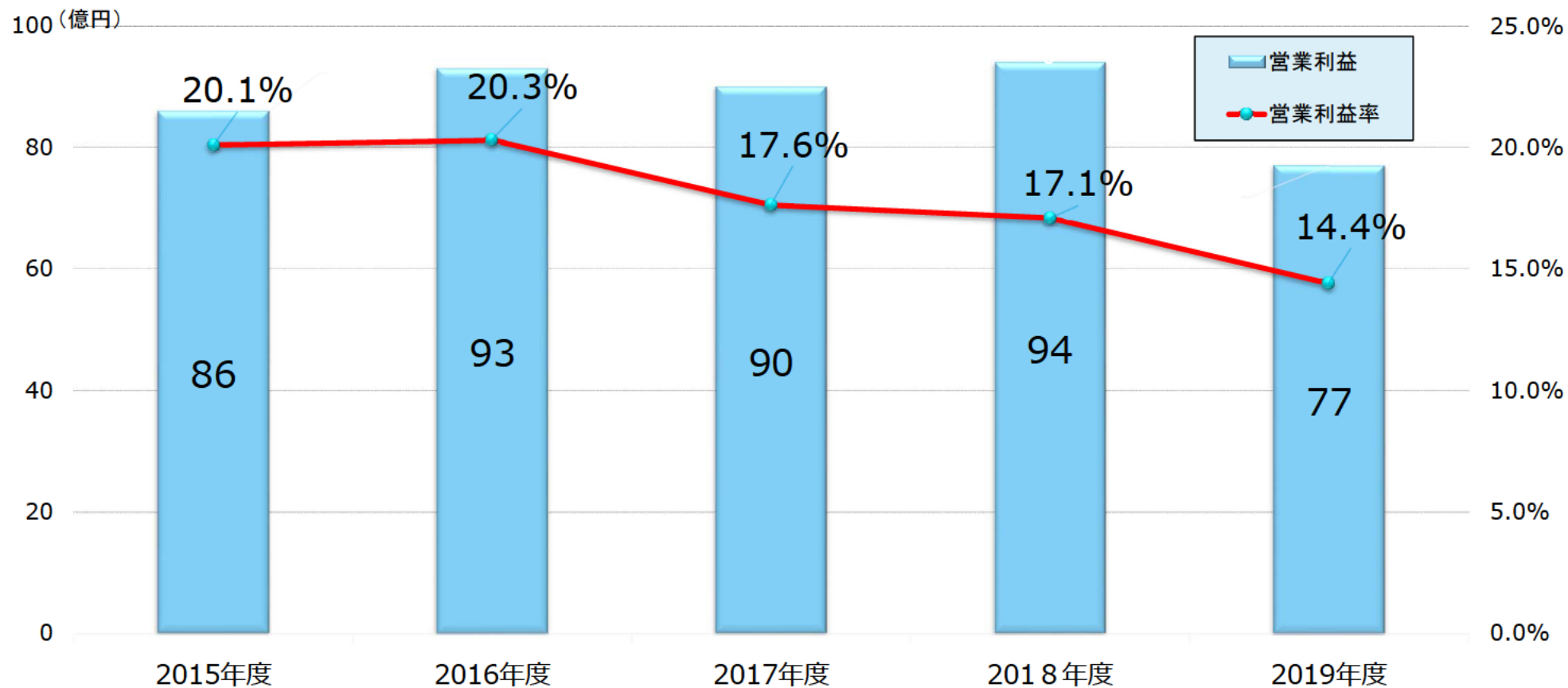
連結子会社である上備製作所の請負工事増加により増収。

連結営業利益差異分析(2019/3 対 2020/3)

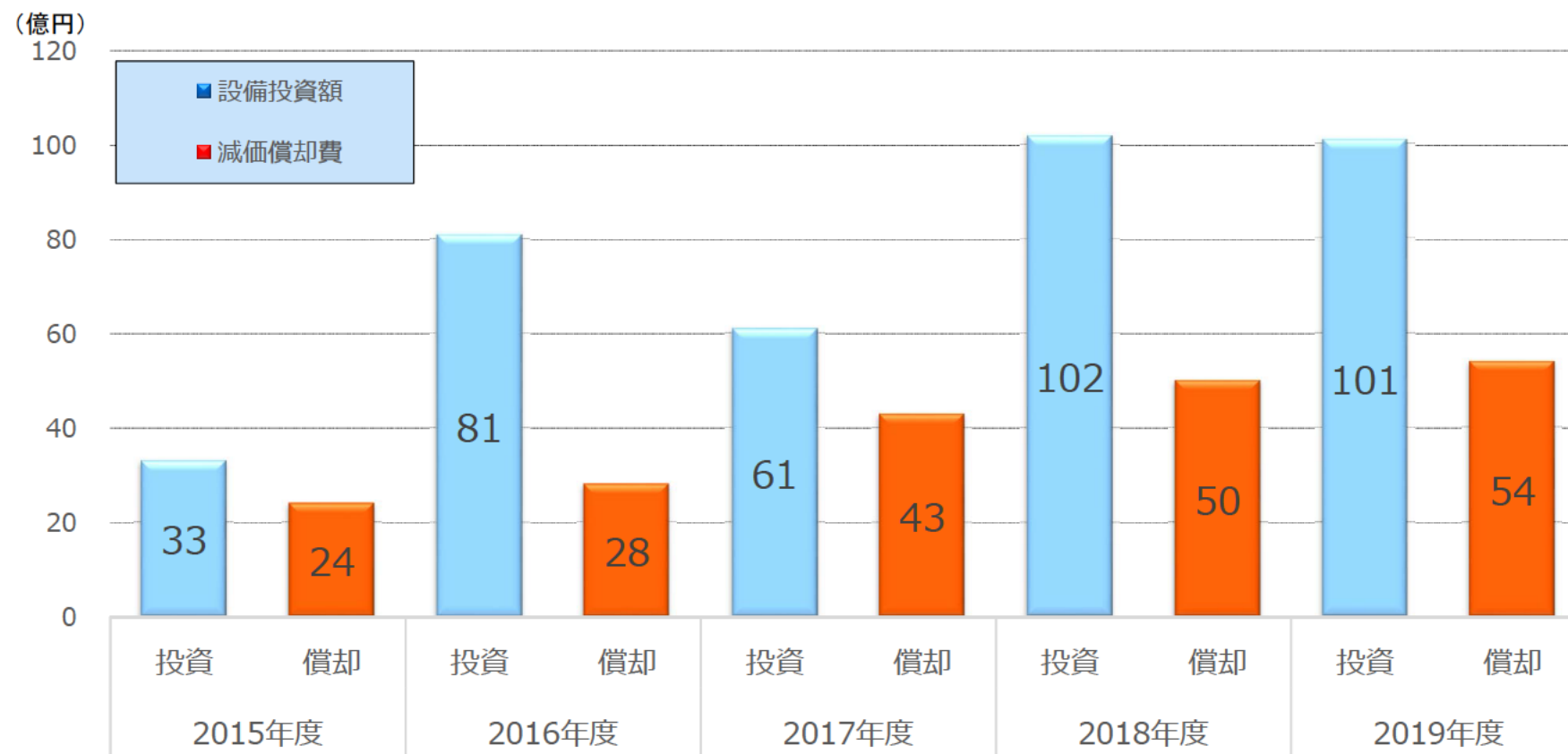
(単位：億円)



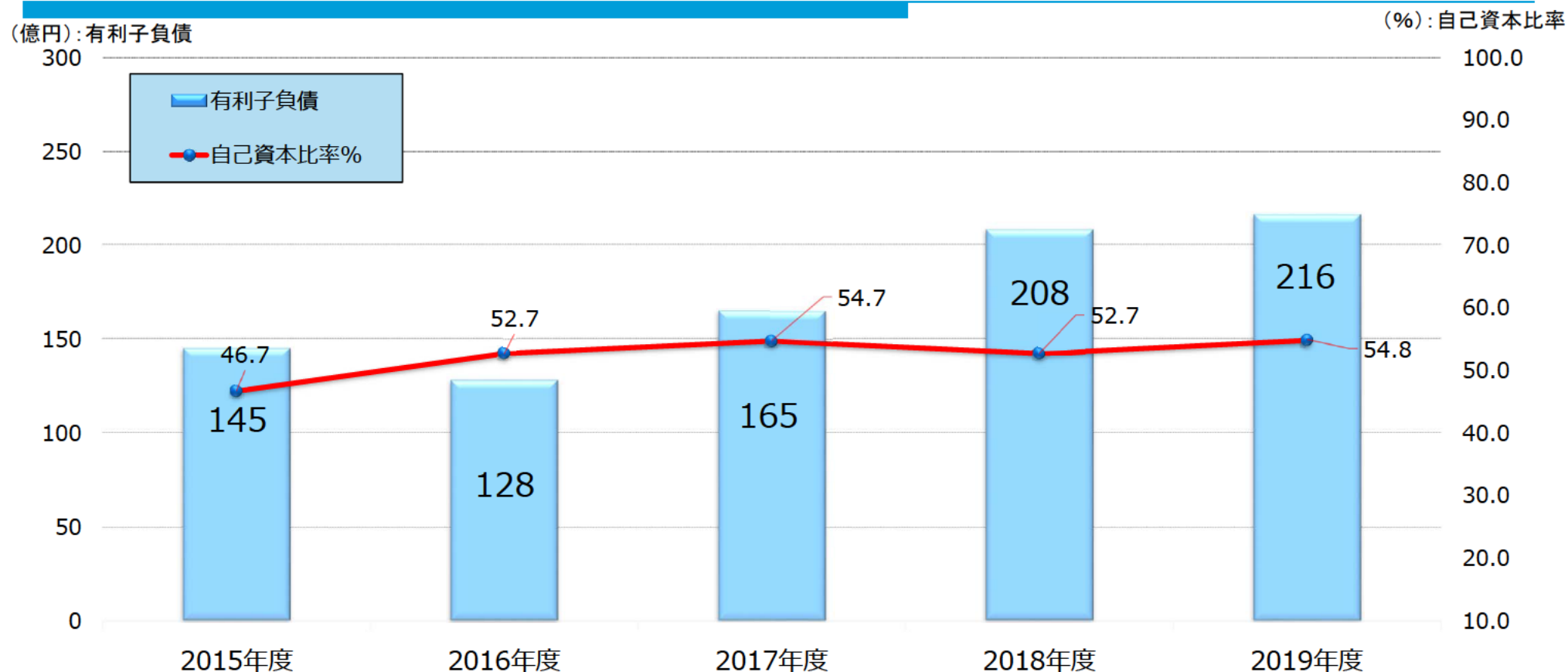
営業利益と営業利益率の推移（連結）



設備投資・減価償却費の推移（連結）



有利子負債・自己資本比率の推移（連結）



説明内容

1. 2020年3月期 決算の概要

2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

2021年3月期の業績見通し

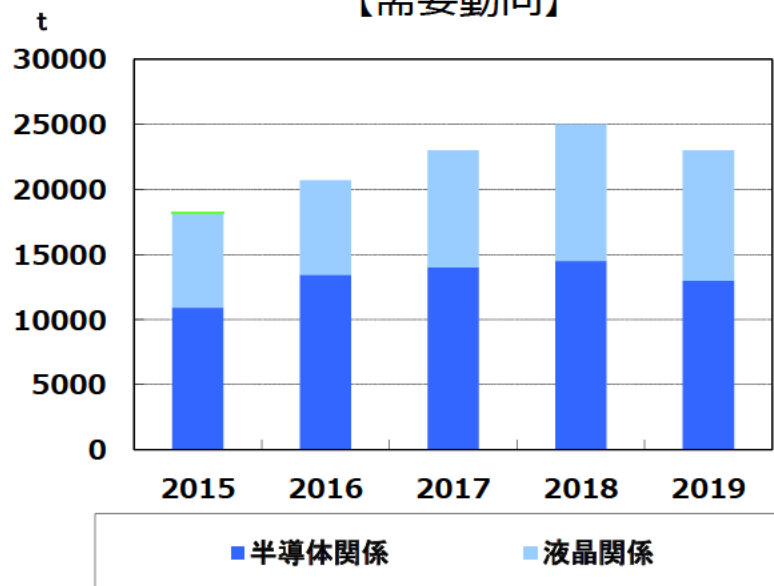
連結決算の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、世界経済への深刻な影響は避けられず、当社グループの業績にも大きな影響を及ぼすことが予想されます。

今後、顧客の生産計画の見直しによる受注の減少が予想されますが、現時点では、その影響額の合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の業績見通しは未定とさせていただき、合理的に見積もることが可能となりました段階で、速やかに公表いたします。

ー主な製品の見通しー 三フッ化窒素 (NF₃)

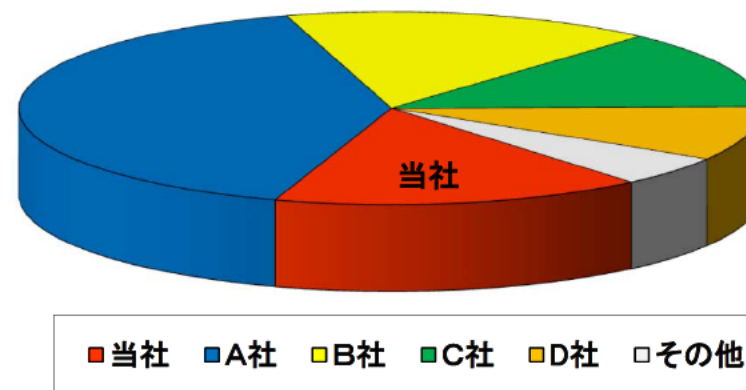
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス
- 製造能力 3,700t/年

【需要動向】



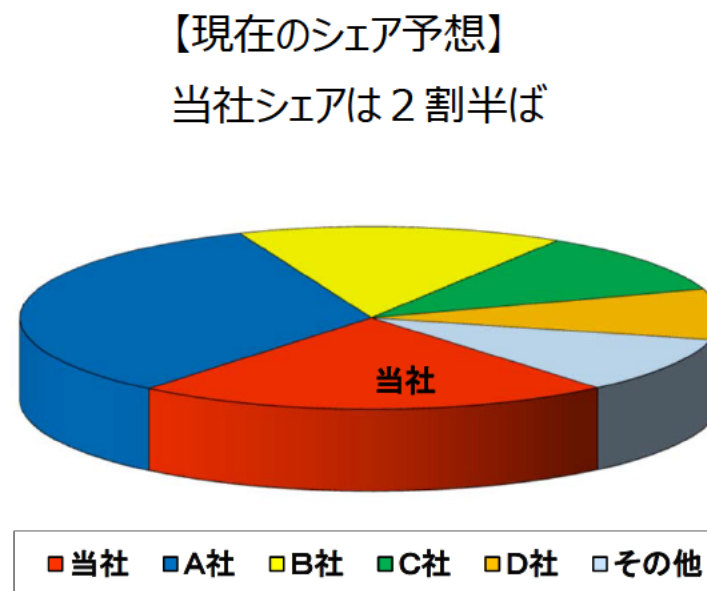
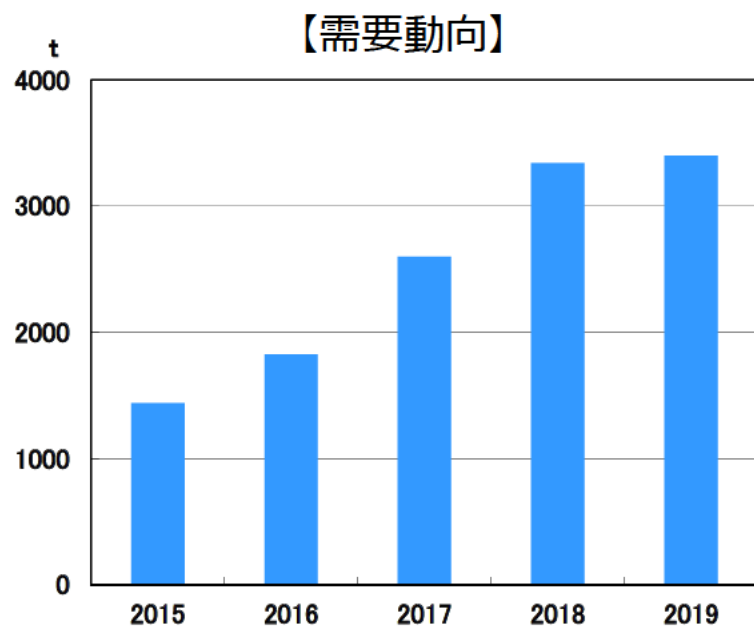
【現在のシェア予想】

当社シェアは2割弱



– 主な製品の見通し – 六フッ化タンゲステン(WF₆)

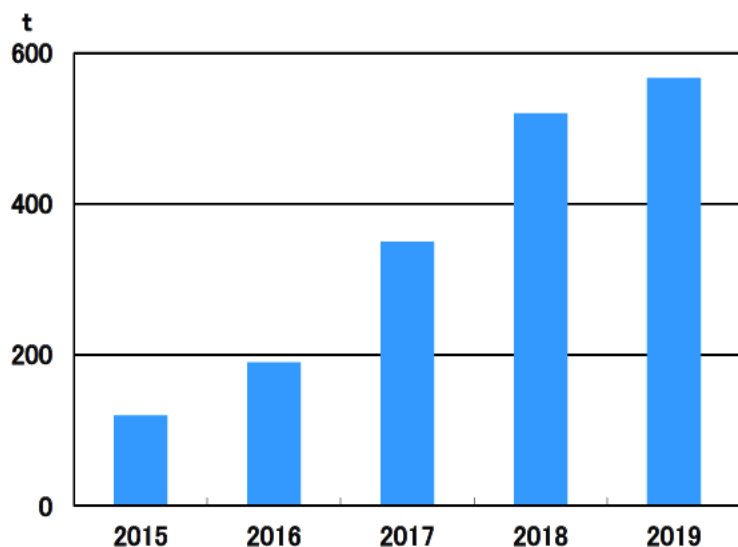
- 半導体用配線材料ガス。
- 生産能力720t/年（2016.11） ➡ 910t/年（2018.08） ➡ 1,400t/年



- 主な製品の見通し - ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C₄F₆)

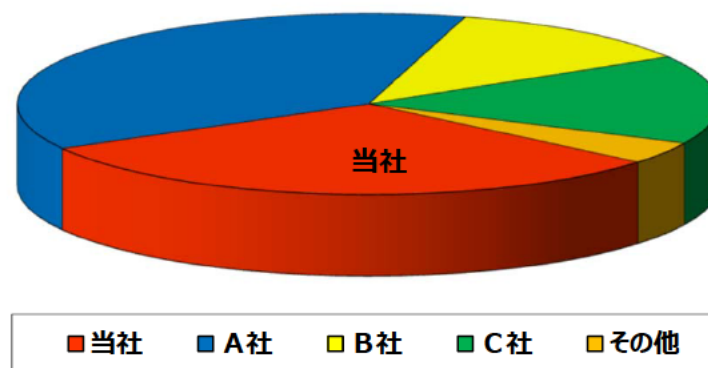
- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 125t/年 ➡ 160t/年 (2018.12) ➡ 260t/年

【需要動向】



【現在のシェア予想】

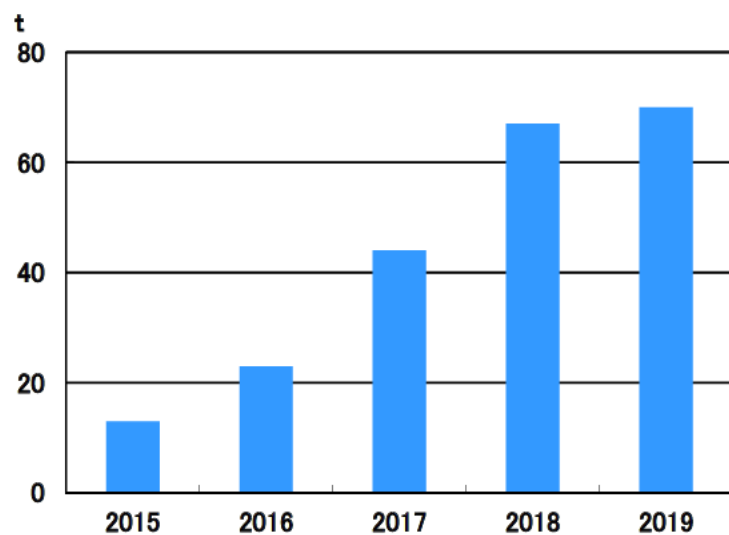
当社シェアは約3割



– 主な製品の見通し – 硫化カルボニル(COS)

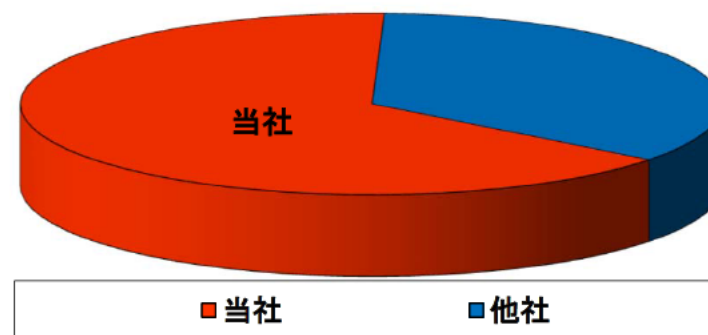
- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 40t/年 ➡ 80t/年

【需要動向】



【現在のシェア予想】

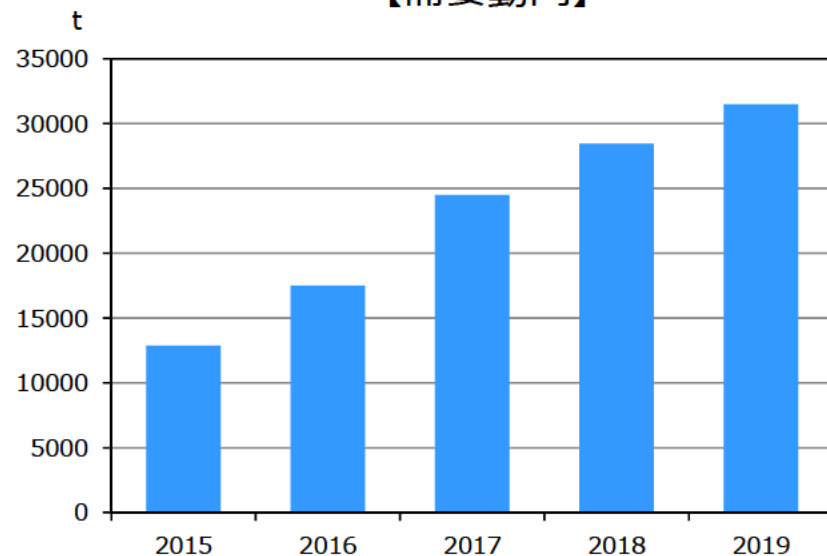
当社シェアは6割以上



– 主な製品の見通し – 六フッ化リン酸リチウム (LiPF₆)

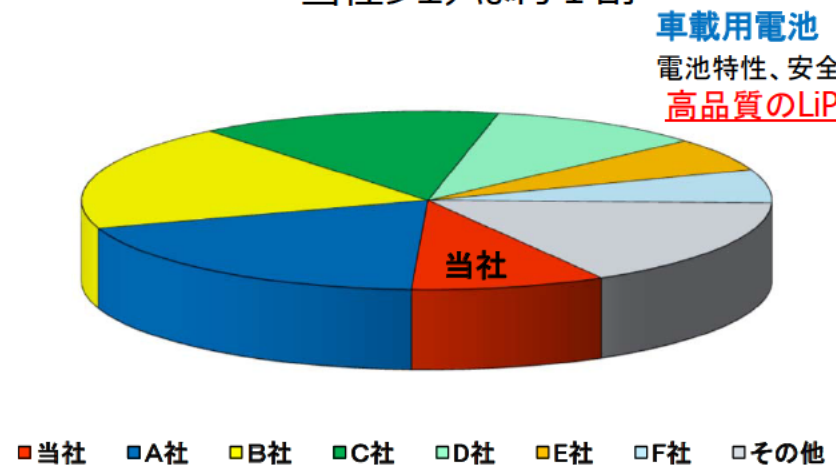
- リチウムイオン二次電池の材料である電解質
- E V等の車載向け需要が本格化
- 現在の製造能力は5,400 t /年

【需要動向】

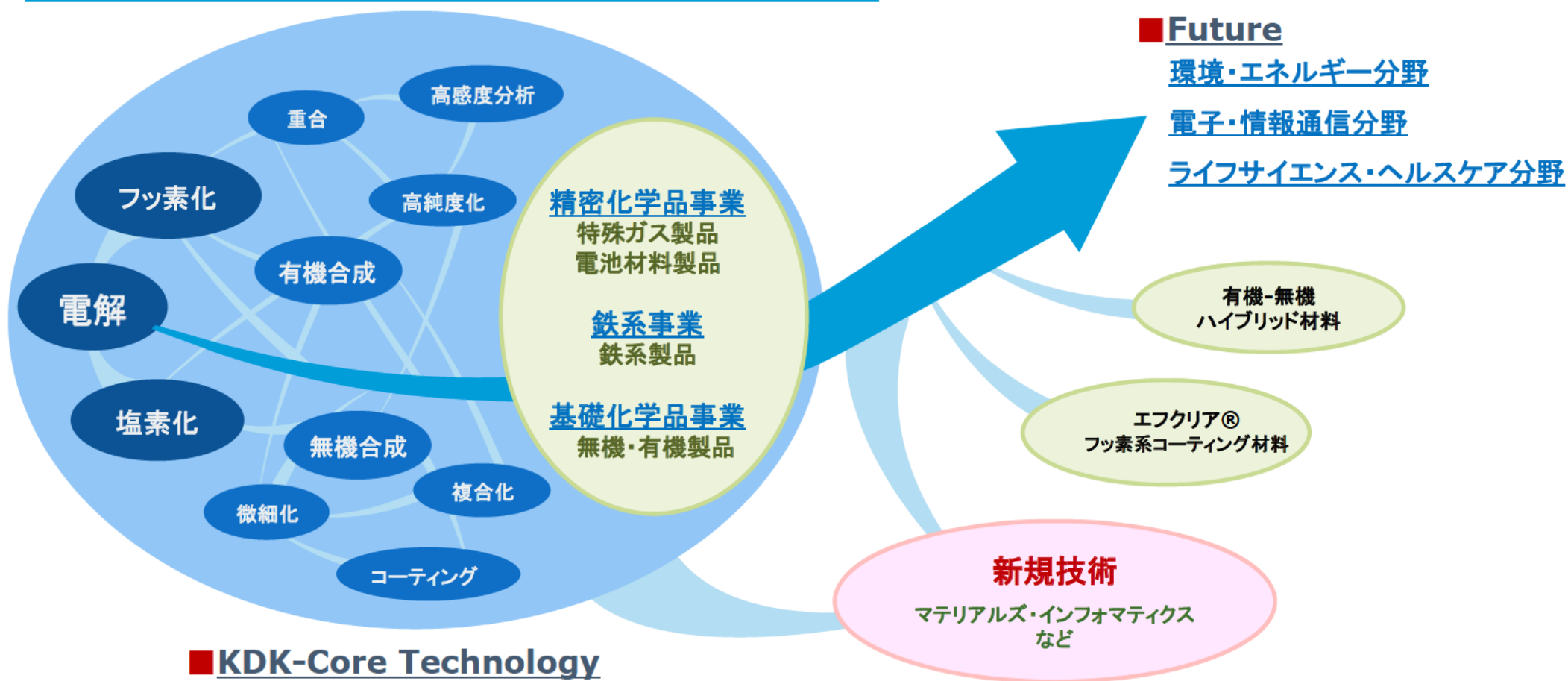


【現在のシェア予想】

当社シェアは約 1 割



当社技術と事業方向性



注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。